

2017年

9月18日(月・祝)

13時半開場・14時開演

前売券 4,500円 当日券 5,500円

山本能楽堂90周年記念  
とくい能 特別公演

卒そ都と婆ば小こ町ま度ち之次第

一度之次第

会場

山本能楽堂

(国登録有形文化財)

「とくい能」って?

「とくい能」は、地下鉄谷町四丁目駅から徒歩五分、  
徳井町一丁目の山本能楽堂で催される、初心者向けの能公演。  
観世流能楽師 山本章弘の解説とQ&Aで初心者にも分かりやすく楽しめます。  
あなたも、「ユネスコ世界無形文化遺産」に指定された能に、  
きっと新しい魅力を発見できるはずです。



2017年 9月18日(月・祝) 13時30分 開場

14時 解説

演目の内容や、能に関する事を、観世流能楽師 山本章弘が分かりやすくお話しいたします。

14時30分 能 卒都婆小町 一度之次第

シテ(小野小町)	波多野 晋	後見	松浦信一郎
ワキ(高野山の僧)	福王 和幸		林本 大
ワキツレ(従僧)	喜多 雅人	地謡	山本 章弘
			杉浦 豊彦
			山本 博通
笛	赤井 啓三		吉井 基晴
小鼓	成田 達志		今村 一夫
大鼓	辻 芳昭		今村 哲朗
			河村浩太郎
			山本 麗晃

移ろいゆくもののはかなさ… 能が描く「究極の世界」を感じてください。

「卒都婆小町」は、能の世界で大変重く扱われる「老女物(ろうじょもの・老女を主役とする能)」の一つです。長い修行の末のにじみでるような味が要求され、老女物を演じることは、能楽師が目指す終極の目的になっています。「卒都婆小町」では、才色兼備で誉れの高かった小野小町が、年老いて、落ちぶれた姿で描かれています。しかし、それでもなお気位は高く、高僧を相手に禅問答をし、昔、小町に恋して死んでしまった深草少将の怨霊がのり移って狂乱します。老いるとは何なのか… 驕慢の美人のなれの果てを描きながらも、淡々として、移ろいゆくもののはかなさ、人生の奥深さがそこには描かれています。見る方それぞれの心に深く響く、能が描く究極の世界がそこには広がっています。

【卒都婆小町 あらすじ】

高野山の僧の一行が、都へ上る途上、摂津国阿倍野(山城国鳥羽とも)付近に差し掛かりました。そこで僧は、乞食の老婆が、朽木の卒都婆に腰掛けているのに気づきます。この老婆は、実は、かつて絶世の美女で、数多くの浮名を流した有名な歌人、小野小町その人でした。僧は、老婆が仏を粗末に扱っていると断じ、その振る舞いを正して卒都婆から立ち退かせようと、説教を始めます。すると老婆は、非常に含蓄のある言葉を返し、言い負かしてしまいます。老婆をただ者ではない、と感じ取った僧は、老婆に対して深々と礼を尽くしました。老婆は、自信満々に歌を詠み、さらに僧を感心させます。僧が老婆に名を尋ねると、老婆は「小野小町のなれの果てだ」と明かしました。

小町は、美貌を誇った往時を懐かしみ、翻って老いを深めた今の境遇を嘆く様子を見せた後、狂乱状態となってしまいます。このとき、小町には、かつて自分を恋慕した深草少将の怨霊が憑りついていました。その昔、深草少将(四位の少将)は、小町に恋心を打ち明けたのですが、小町は百夜私のもとに通ってきたら、あなたの恋を受け入れましょと言ひ、毎日通わせました。深草少将は九十九夜まで通いましたが、最後の一夜を通う前に死んでしまいました。恋を成就できなかった深草少将の怨念が残り、老境の小町を苦しめていたのです。

小町は、狂乱の内に深草少将の百夜通ひの様子を再現しますが、やがて狂いから醒めて、後世の成仏を願うことが本来の人の道であると語り、悟りの道に入ろうと志します。

※墓の後ろに立てる塔の形をした木片の事

入場券

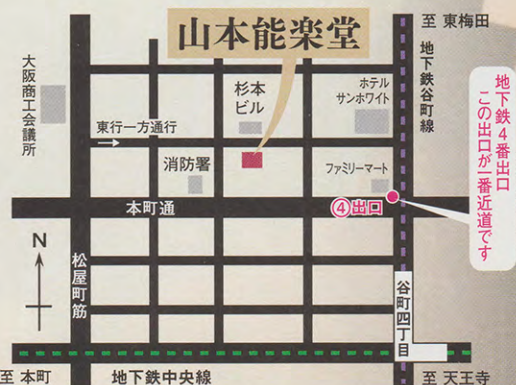
◆前売券 4,500円 ◆当日券 5,500円

チケット取扱い

◆山本能楽堂 電話予約 06-6943-9454  
インターネット予約 <http://noh-theater.com>

主催・お問い合わせ

公益財団法人 山本能楽堂  
大阪市中央区徳井町1-3-6  
TEL 06-6943-9454  
FAX 06-6942-5744  
E-mail [ticket@noh-theater.com](mailto:ticket@noh-theater.com)



地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目駅」4番出口より谷町筋に沿って北へ。1筋目(ホテルサンフワイト)手前を左折。1筋越えてすぐ左手。

**WeNoh!**  
能楽案内の無料アプリ  
能楽を気軽に楽しめよう!

QRコード: iOS, Android